



YB会報

横須賀美術協会会報
2020年第054号
夏・冬年2回発行
2020年1月19日発行

発行：横須賀美術協会 / 会長：岡田容吉 / 編集部：〒238-0111 三浦市初声町下宮田 2320-114 井上雅仁 TEL046-889-3526

謹賀新年

新年のご挨拶



横須賀美術協会副会長 横山博志

新年あけましておめでとうございます。昨年は関係機関、団体の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

YBは1941年6月1日に第1回のYB展を開催し、それ以降戦時中を除き毎年開催されてきました。2020年は第80回を迎えます。

芸術とは何か。宗教 同じように人類に欠かせない精神活動と思われれます。芸術はなくならないと思います。その理由は何か。それは「心の癒し」ではないか。宗教も心の「癒し」であると思います。芸術は人間の精神活動の分野の内「心の癒し」を担当しているのです。

我々は自分の癒しのために創作活動をしていると考えます。何のために創作活動をするか、過去に芸術家達がいかに生活し作品を残してきたか、その疑問が一挙に解決すると思われる。

「癒し」のためだったと考えるのではないか。「癒し」を描いた木にしてもルノアールにしても「心の癒し」を描いたのではないか。我々は風景画等を描いて小さな「癒し」に満足し、それぞれの人が自分だけの「癒し」を求めて日々活動しているものと思われれます。小さな日々の満足のため、つまり「癒し」の活動は生きている限り続きます。芸術が永遠である所以はそこにあるのではないのでしょうか。

「ひとりごと」

イスラエルの旅で

最上 節子

海外旅行に、数々行きましたが、印象深い国は、イスラエルです。聖書の世界が、今も語り継がれ、守られ、痕跡が残されている国。

キリストの墓のある聖墳墓教会は、世界中の国からの信者と、観光客で、身動きが出来ない程の人数、死海での浮遊体験もしました。入国審査前、パスポートの紛失に気付き、頭が真白になった事。飛行機で、一人旅の私は、同じツアーの女性と、絵の話に夢中になり、その人のスケッチ帳を見たりで、注意力が散漫になつていたので、膝上のパスポートを落したまま、降りたのです。その後直ぐ係員に呼び掛けられ、手渡された時は、生れて初めて、神様に感謝しました。

盛岡の高校の時から、聖書を何度も読み返していましたので、イスラエルの神様が、救って下さったのだと。聖書は、私の苦しい時の、人生の指針ともなっています。



「マッターホルン」

第63回会員会友展について

会員会友展担当 横山博志

第63回YB会員会友展は2019年1月20日から1月26日の間、横須賀市文化会館にて盛大に開催されました。来場者は1026名と年々減少傾向ではありますが、横須賀市在住の美術愛好家の皆さんに作品を御高覧いただけたかと考えております。出品者は会員会友104名で文化会館の会場には会員会友の力作が並びました。特に際立ったのは80号以上の大作が例年通り展示されたことです。地方展にしてはあまり見ない大作が展示されたということはYBの芸術文化の水準の高さを物語るものであると思っております。私見ですがその為会場は何か重々しく華やいだ雰囲気にも包まれていたと記憶しています。

私達美術愛好家が活動を行えるのも横須賀市の方々や神奈川新聞社の後援と支えがあつて実現出来たことを心から感謝します。今後とも横須賀美術協会の発展を祈念します。



「会員会友展」の発展を祈念します。